

KiKiの広場

2022年 11月 1日
cafe NO.145
KiKi



「KiKiの広場」の第1号は、2010年の11月です。第1号の『ほっとブレイク』には、85歳のご婦人のお客さまのことを書いています。健康の為、毎日バスで井筒屋まで来られているということでした。薄紫のマニキュアをされ、花柄のブレザーを素敵に着こなしたとてもおしゃれな方でした。12年の間に、その井筒屋もなくなり市役所も建て替わり、周囲の景色は少しずつ変わっていきました。果たして今、誰かが毎日でも来たくくなるような、みんなが集えるような街になりつつあるのでしょうか？「ヒストリア宇部」が、その役割の1つになれるように、これからも頑張っていきたいと思えます。

せつかく秋を満喫できる季節です。ヒストリアのオープンカフェで、ほっとブレイクいかがでしょうか？

11月の予定

休館日	8日(火)
休業日	毎土・日・月曜日
臨時休業日	3日(木)
臨時営業日	6日(日)



「気まぐれシェフのKiKiオリジナルシフォンケーキ」
🍌「さつまいものシフォンケーキ」…300円🍌

手作りのさつまいも餡とコロコロさつまいもが入った、優しい味のケーキです。ほっこり、しっとり、秋を感じるさつまいものシフォンケーキです。

今月のお気に入り…「深まりゆく秋を楽しむ絵本」

～「もりのてぶくろ」「もりのピアノ」「ファーティとおちぼ」「干し柿」「まゆとフカフカー」「14ひきのひっこし」などなど～

「もりのてぶくろ」は、どのページにも秋が散りばめられた美しい絵本です。主役は1枚のいちょうの葉。次々と動物たちがあらわれ、いちょうの葉に自分の手をあてていきます。文は八百板洋子さん、絵はロシアのナターリヤ・チャルーシナ。最後に登場する親子の様子からロシアの香りがしてきます。動物たちの毛並みにうっとりしつつ、描かれている男の子の服とシューズもとてもきれいで、心惹かれます。「もりのピアノ」は、いわむらかずおさんの絵本です。森にやってきた女の子が切り株に座ると、それが女の子にとってはピアノそのものに。シンプルな絵とお話ですが、楽しくてほのぼのする絵本です。

今月の本棚…「みんな大好き♡お芋の絵本」

～「おいもさんがね…」「おおきなおおきなおいも」「ねずみのいもほり」「さつまのいも」「やきいものひ」などなど～

「おいもさんがね…」は、とよたかずひこさんの「おいしいともだち」シリーズです。芋ほりの絵本はたくさんありますが、お芋が自分たち自身で芋ほりをするのは珍しいと思います。ましてや自分たちで落葉の中に入って、焼き芋になっちゃうなんて！このシリーズの決めゼリフ「しんぱいごむよう！」を言ったのは、いったい誰でしょう？裏表紙に続きのお話もあって、ほっこり楽しめます。「おおきなおおきなおいも」は、50年前に幼稚園の実践をヒントにできた本です。子どもたちの発想って、なんて楽しくて夢があって、ぶっとんでいるんだろうって思います。(笑) 大胆で迫力いっぱいの赤羽さんの絵が、これでもかこれでもかと、ワクワク感をどんどん広げてくれます。大人も子どもも、最後まで思いっきり楽しめる絵本です。

ほっとブレイク

気まぐれシェフ奮闘記その2…カフェのランチメニューというと、カレーかピザが主ですが、お客さまからの声もあり、気まぐれシェフが、今メニューを増やそうと奮闘してくれています。ライス・パン系の次は、やはりパスタですね。「カルボナーラ」に「和風パスタ」など。ソースや具材を色々考えたり、保存方法を工夫したりと、次々に浮かぶアイディアに、こちらは「ほおう〜っ」と、感心するばかり。しかも味見もいっぱいさせてもらって、スタッフ冥利につきます。他にも、「コンソメパスタ」や「スープパスタ」など、いくつか検討中のようです。近いうちに「パスタメニュー」が登場すると思います。どんなパスタができるか、どうぞ期待！！

